

捕獲の仕方、運搬時の注意点、県内の救護施設

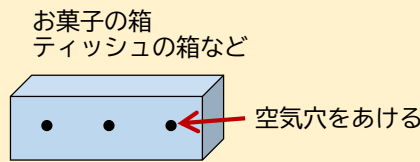
ケガや病気の
野生動物をみつけたら④

- ・野生動物は追い回したり、押さえつけるだけでも大きなストレスとなり、死亡することもあります。
- ・自然治癒できる場合もあるので、できる限り**見守るのが基本**です。
- ・感染症やケガの恐れがあるため**野生動物は素手で触らないようにしましょう**。
- ・作業後は、よく手を洗い、消毒をしてください。
- ・許可なくワナや檻、捕獲器を使用して野生動物を捕獲することは違法です。

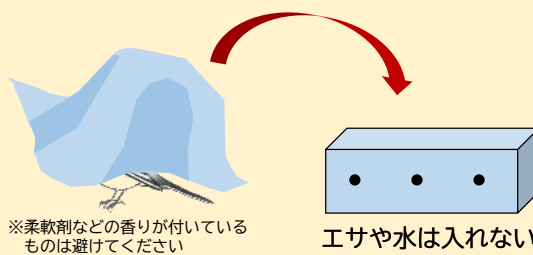
捕獲の仕方

小鳥・小型哺乳類の場合

保護する動物がすっぽり入る大きさの箱を用意します。

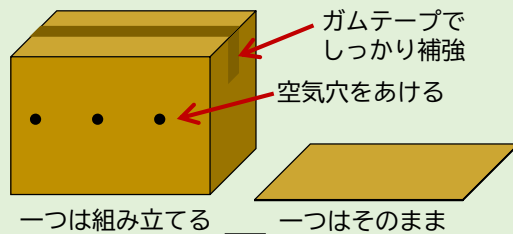


不要なタオルなどで動物の全身を覆い、箱に収めます。

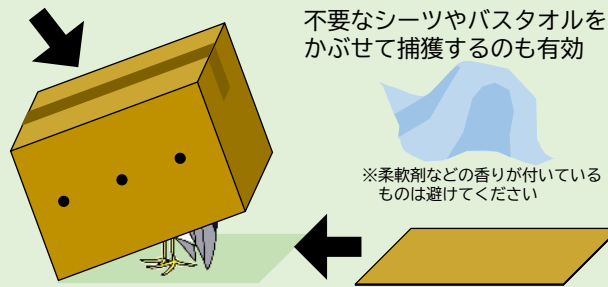


大型鳥類・猛禽類・哺乳類の場合

大きめの段ボール箱を2つ用意します。



動物の上から段ボールをかぶせ、下から板状の段ボールを差し込む



一見大人しくても、捕獲しようとする
と抵抗してかみついたり、引っ掻いたり
する場合があります。**危険を感じる
ときは決して無理をしないでください。**

ひっくり返して
ヒモやガムテープなどで
開かないようにする



運搬時の注意

- フタはしっかりと閉じて、中を暗くしてください。暗いと動物が落ち着きやすくなります。
- 低体温で衰弱している場合は、ペットボトルに熱いお湯を入れ、布や新聞紙などで包み、直接動物に触れないようにして箱に置くと箱内を保温できます。
※使い捨てカイロは使わないでください。熱すぎたり、箱内の酸素を消費して窒息の危険があります。



保温のようす

県内の救護施設

- **必ず事前に電話で相談してください。**
- お持ちいただいても、職員が動物の種類や状態を確認した結果、**受け入れできない場合があります。**
- 動物の収容状況や感染症の発生により受け入れを休止する場合があります。

自然環境保全センター

☎ 046-248-0500

☎ 046-248-6682

住所 厚木市七沢657

受付時間 10:00~16:00

閉館日 月曜日（祝日の場合は開館）
祝日の翌日（土日祝の場合は開館）
年末年始（12/21~1/4）

横浜市立よこはま動物園 ズーラシア

☎ 045-959-1000

住所 旭区上白根町1175-1

横浜市立野毛山動物園

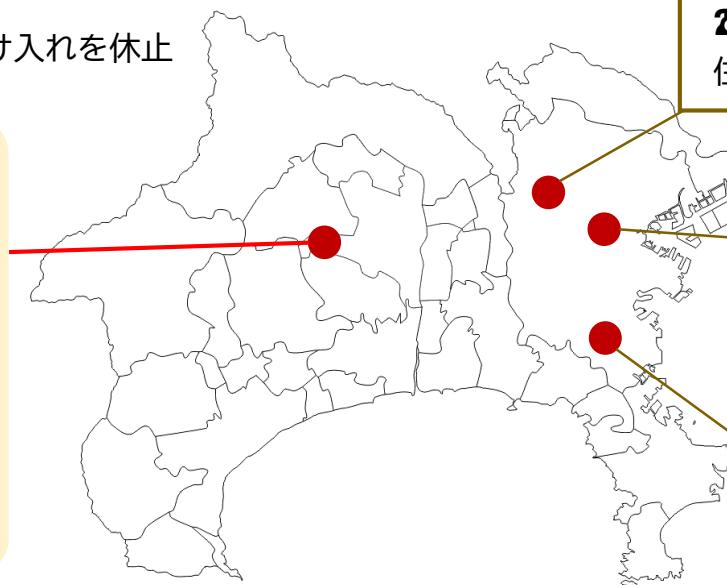
☎ 045-231-1392

住所 西区老松町63-10

横浜市立金沢動物園

☎ 045-783-9100

住所 金沢区釜利谷東5-15-1



傷病動物受付所のご案内

防疫上の観点から、**傷病動物受付用駐車場以外で
傷病動物を車から降ろさないでください。**



※一般駐車場側からは傷病動物受付へは通り抜けできません。